

銚田市園芸部門共通課題に関する情報交換会を開催しました

令和7年1月27日（月）に病虫害や夏季高温対策等の課題を地域一体となって解決するために、JA 茨城旭村及び JA ほこたの各品目担当者 20 名にお集りいただき、情報交換会を開催しました。

今年度は昨年度と同様の酷暑となり、トマトでは着果不良や着色不良果の発生、イチゴでは花芽分化の遅れ、カンショやバレイショではシロイチモジヨトウなどヤガ類の多発生、さらにメロンやトマトではウイルス病の発生がありました。また、品目共通ではアザミウマ類による加害やコナジラミ類の寄生による果実の汚れの発生があり、多くの品目で栽培が厳しい年となりました。

情報交換会では、重点品目において実施した遮熱資材や屋根散水の実証結果や天敵資材の実証結果などを情報共有し、さらなる課題解決について検討しました。そして、来年度は、夏季の高温対策や栽培終了後のハウスの蒸し込み処理の徹底による病虫害のまん延防止、カンショにおけるヤガ類の早期防除の徹底などを重点的に推進するとしました。

普及センターでは、本情報交換会を銚田市における病虫害や高温対策等の課題や改善策について協議できる場として今後も開催し、関係機関と一丸となって、管内経営体の所得向上を支援していきます。

銚田地域農業改良普及センター（成長産業）